

災害復旧事業の復旧工法 2025 年版 正誤表

ページ 行	正	誤
415	各ケースに応じた選定図を図 11-4-7 及び 11-4-8 に示す。 (2) 構造物の重要度が高いブロック積工の場合 ① 7m を超える大法の土留 ② 幹線道路の土留 ③ 大きな荷重のかかる橋梁（橋台）まわりの土留 ④ 次のいずれかに該当する用排水路護岸 ・幹線水路等の重要な施設 ・設計基準水路工に基づいて造成したブロック積工 なお、現場条件等を十分考慮のうえ判断する。 （参考）ブロック積システム「ブロック積簡易選定表」 ブロック積工の各諸元の選定過程を踏まえ、的確な部材寸法の選定及び負担軽減のため、本図書の改訂に伴い、自動化・パターン化を組み込んだシステム化を図った。 本システムについては、農林水産省ホームページ（災害復旧事業：農林水産省）にてダウンロード可能。 「ブロック積簡易選定表」の取り扱い（前提条件）について ① Excel 版ブロック積簡易選定表は、選定フロー（図 11-4-6）で選定図 1 を選定した場合にのみ適用可能である。 ② Excel 版ブロック積簡易選定表は、部材寸法の選定や参考数量の算出の負担軽減を目的としたものであり、ブロック積の諸元選定は冊子版で行うことを原則とする。 ③ ただし、以下の条件においては Excel 版ブロック積簡易選定表の利用が有効である。 a) 冊子版の条件と現場の条件が一致しない場合 b) 冊子版による選定結果が境界線付近の場合等、選定の判断が難しい場合	各ケースに応じた選定図を図 11-4-7 及び 11-4-8 に示す。 (2) 構造物の重要度が高いブロック積工の場合 ① 7m を超える大法の土留 ② 幹線道路の土留 ③ 大きな荷重のかかる橋梁（橋台）まわりの土留 ④ 次のいずれかに該当する用排水路護岸 ・幹線水路等の重要な施設 ・設計基準水路工に基づいて造成したブロック積工 なお、現場条件等を十分考慮のうえ判断する。 （参考）ブロック積システム「ブロック積簡易選定表」 ブロック積工の各諸元の選定過程を踏まえ、的確な部材寸法の選定及び負担軽減のため、本図書の改訂に伴い、自動化・パターン化を組み込んだシステム化を図った。 本システムについては、農林水産省ホームページ（災害復旧事業：農林水産省）にてダウンロード可能。 「ブロック積簡易選定表」の取り扱い（前提条件）について ① Excel 版ブロック積簡易選定表は、選定フロー（冊子版 P404）で選定図 1 を選定した場合にのみ適用可能である。 ② Excel 版ブロック積簡易選定表は、部材寸法の選定や参考数量の算出の負担軽減を目的としたものであり、ブロック積の諸元選定は冊子版で行うことを原則とする。 ③ ただし、以下の条件においては Excel 版ブロック積簡易選定表の利用が有効である。 a) 冊子版の条件と現場の条件が一致しない場合 b) 冊子版による選定結果が境界線付近の場合等、選定の判断が難しい場合